



埼玉県のマスコット コバトン

埼 玉 県 獣 医 師 会 会 報

第 672 号

令和元年10月20日編集

発 行 所
公益社団法人 埼 玉 県 獣 医 師 会
〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-340
(埼玉県農業共済会館内)
電 話 048(645) 1 9 0 6
F A X 048(648) 1 8 6 5
E-mail : s-vma@vesta.ocn.ne.jp
URL : <http://www.saitama-vma.org/>
振替口座 00110 - 9 - 195954番

発行責任者 高 橋 三 男

編集責任者 大 橋 邦 啓

印 刷 所 (株)アサヒコミュニケーションズ

記 事 の 内 容

令和元年度全国獣医師会会長会議開催される
..... 1

会務報告

第2回獣医事調査委員会..... 2

予告

西支部学術講習会のお知らせ..... 3

北支部学術講習会のお知らせ..... 3

東支部学術講習会のお知らせ..... 4

新入会員報告

新入会員紹介..... 5

ひろば

日本獣医師会主催「2019動物感謝デー in
JAPAN開催される 6

南支部学術講習会開催報告..... 8

北支部学術講習会開催報告..... 8

第147回埼玉県獣医師会ゴルフ同好会コンペ
結果報告..... 9

お知らせ

日本医師会・日本獣医師会連携シンポジウム
のお知らせ..... 10

日本獣医師会からのお知らせ..... 11

埼玉県農林部畜産安全課長からのお知らせ
..... 12

埼玉県で発生した豚コレラについて..... 20

豚コレラの発生状況..... 22

埼玉県獣医師会学術広報版 25

事務局より

事務局メモ..... 27

編集後記 28

公益社団法人 埼玉県獣医師会 会員憲章

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は、それぞれの職域において、その責務を遂行し、県民の福祉増進に寄与するため、ここに会員憲章を定めます。

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は

1. 動物の生命を守り、ひとびとの生活を豊かにしよう
1. 獣医学術を研鑽向上し、確信を持って業務に邁進しよう
1. 動物愛護思想を向上し、心豊かな生活をしよう
1. 環境衛生を向上し、福祉増進の実をあげよう
1. 職域を尊重し、倫理の昂揚をはかろう

令和元年度全国獣医師会会長会議開催される

令和元年度全国獣医師会会長会議が10月4日（金）午後2時から、東京都千代田区のホテルルポール麹町において開催されました。

会議では、冒頭、主催者として藏内勇夫日本獣医師会会長、続いて北村直人日本獣医師会顧問（日本獣医師連盟委員長）が挨拶をしました。

常設議長の任期は今年度の日本獣医師会の総会までとなっていたため、藏内会長は、これまで常設議長を3期6年務めた高橋三男会長を改めて指名しました。副議長は和歌山県の玉井公宏会長が指名されました（任期は令和3年の日本獣医師会通常総会まで）。高橋会長は就任の挨拶をして議事に入りました。



主催者挨拶をする藏内勇夫日本獣医師会会長



議長就任の挨拶をする高橋三男埼玉県獣医師会会長
左は副議長の玉井公宏和歌山県獣医師会会長

議事では、まず「説明・報告事項」として①北海道胆振東部地震に関する件、②2019動物感謝デーin JAPAN “World Veterinary Day”に関する件、③獣医学術学会年次大会に関する件、④2022アジア獣医師連合（FAVA）大会に関する件、⑤特別委員会に関する件、⑥部会委員会に関する件、⑦当面の課題への対応方針（ロードマップの策定）に関する件、⑧獣医学術地区学会に関する件、⑨マイクロチップ登録料に関する件、⑩その他の報告・連絡事項について説明と報告がありました。

その後は、連絡事項として当面の主要会議等の開催計画に関する件、日本獣医師連盟の活動報告について説明がありましたが、高橋会長は議長として、限られた時間の中で各地方会会長から有意義な質問や意見を引き出すとともに、執行部から適切な回答を得るために、最適な対応者を指名するなど、円滑な運営に務めました。

最後に豚コレラの発生について岐阜県からの発言を受け、埼玉県から中村副会長が会を代表して埼玉県の発生状況の経緯を説明し、その後、鴻巣専務理事が現場対応の厳しい状況などを詳細に説明して議事は終了しました。

会議終了後は午後5時から、同ホテルにおいて事業推進懇談会が開催されました。

会務報告

第2回 獣医事調査委員会

令和元年10月16日（水）午後1時30分から、さいたま市「埼玉県農業共済会館」会議室において次の事項を協議した。

1 会長挨拶

6月の総会後、7月には合同会議でお集まりいただいた。その後は初めての委員会となる。全国的に動物病院の60%は一人で経営している、地域から選出されている委員の皆様には貴重な時間を割いて出席していただいている。この点については監事からも指摘をされている。理事会は決定機関であり理事には手当も出ているため、時間をかけて審議をしなければならない。しかし、委員会については、事前に委員長からメール等で情報提供をしていただき、会議は短時間で効率的な運営をして、午後の限られた時間を有効に使っていただくようお願いする。そのためにも、委員長には事前に手当を支給しているのでよりしくお願いしたい。

2 協議事項

(1) 新入会員の審査について

入会申込みのあった、開業部会6名（新規2名、転入4名）及び勤務部会14名（新規12名、転入2名）について審査し、全て適切なものとして、理事会に付議することとなった。

(2) その他

会員規程の改正について検討案が説明され、今後、関係委員会や理事会で協議していくこととなった。

広告

わたしたち森久保薬品は人と動物の「これから」を真剣に考えています。

 胃腸と皮膚が気になる犬に Dr. CREDO No.1 成犬用 総合栄養食 1kg・3kg	 血流と健康が気になる犬に Dr. CREDO No.2 中・高齢犬用 総合栄養食 1kg	 下部尿路が気になる成猫に Dr. IDEA No.1 成猫用 総合栄養食 150g×6パック(900g)	 成猫の体重管理に Dr. IDEA No.2 成猫用 総合栄養食 150g×6パック(900g)
--	---	---	---

M 森久保薬品株式会社

神奈川：046-221-0620 山梨：055-224-5278 群馬：027-230-3322 東京：042-564-2381 埼玉：04-2968-0881
三郷：048-948-2112 栃木：028-666-3399 茨城：0296-43-1661 成田：0476-40-5811 茂原：0475-24-1613

予 告

西支部学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(1) 小2(4) 小3(10))

西支部長 別部 博司
学術委員 竹島 昌俊

西支部では、11月24日（日）に日本小動物医療センター眼科 小野啓先生をお招きして「眼科の緊急疾患～角膜疾患と緑内障」の演題で学術講習会を開催します。特に日常診療に役立つポイントをわかりやすく例にとりながら詳しく教えていただきたいと思います。多くの先生方のご参加をお待ちしています。

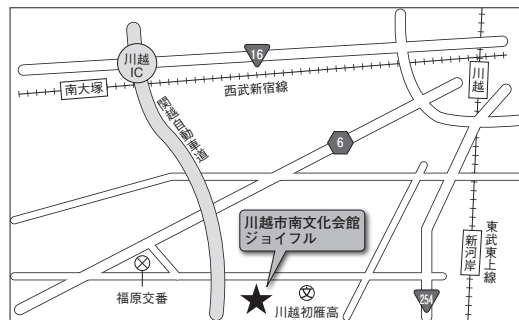
日 時：令和元年11月24日（日）
13：30～16：30（13：00受付）

場 所：川越市南文化会館（ジョイフル）
川越市今福1295-2
TEL 049-248-4115

演 題：「眼科の緊急疾患～角膜疾患と緑内障」

講 師：日本小動物医療センター眼科 小野 啓 先生

参 加 費：埼玉県獣医師会会員 無料
会員以外の受講者 5,000円



北支部学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(1) 小3(6))

北支部長 大橋 邦啓
学術委員 高野 宜彦

猫の心疾患といえば、誰でも思い浮かべるのが心筋症ですね。犬だと慢性房室弁疾患や心筋症、不整脈、先天性心疾患など、心臓病の種類は多いのですが、猫と言われるとピンとこない部分も多いのではないのでしょうか。

猫の心筋症は、遭遇率で言えば確かに多い病気ですが、他の心臓病に出会うこともあります。心筋症に固執して、実は違う心疾患だった…なんてことにならないよう、猫にはどのような心疾患があって、どのような特徴があるのかを、今回、詳しく解説していただきます。
多くの先生方のご参加をお待ち申し上げます。

日 時：令和元年12月15日（日）
13：30～17：00

場 所：アリオ深谷 3階
男女共同参画推進センター（L・フォルテ）多目的ホール
深谷市上柴町西4-2-14（キララ上柴内）
TEL 048-573-4761
※JR高崎線深谷駅南口より無料の市内循環バスが運行しています。
電車でお越しの方は循環バスをご利用ください。



演 題：「心筋症だけじゃない猫の心臓病」

講 師：宮崎大学 獣医内科学研究室 中村 健介 先生

参 加 費：埼玉県獣医師会会員 無料
会員以外の受講者 3,000円

東支部学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(1) 小2(4) 小3(12))

東支部長 渋谷 正志
学術委員 田口 修

東支部では、12月8日(日)松木 直章先生(犬と猫の内科の病院 まつき動物病院 院長)をお招きし、内分泌学「犬のクッシング症候群とアジソン病」と題して学術講習会を開催いたします。

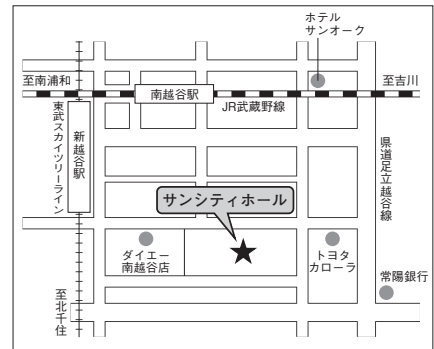
日 時：令和元年12月8日(日)
14:30～18:00頃(受付14:00～)
※講演内容、休み時間などで多少前後いたします。

場 所：越谷サンシティ
越谷市南越谷1-2876-1
TEL 048-985-1111

演 題：内分泌学「犬のクッシング症候群とアジソン病」

講 師：犬と猫の内科の病院 まつき動物病院 院長 松木 直章 先生

参 加 費：埼玉県獣医師会会員 1,000円(シラバス代、飲み物代含む)
会員以外の受講者 5,000円(シラバス代、飲み物代含む)



広告

公益社団法人日本獣医師会 獣医師福祉共済事業

獣医師の皆さまとご家族に
大きな安心を!!



獣医師の皆さまを取り巻く様々なリスクの備えに

「獣医師会のほけん」

団体割引20% 病気やケガに備える

所得補償保険

団体長期障害
所得補償保険

新・団体医療保険*

傷害総合保険

動物病院従業員補償
傷害総合保険

*医療保険基本特約、疾病保険特約、傷害保険特約、がん保険特約セット団体総合保険

動物病院の「什器・備品・医療機器」の損害に備える

動物病院「什器・備品・医療機器」総合補償
(テナント総合保険)

保険契約者 公益社団法人 日本獣医師会

このご案内は概要です。詳しい内容につきましてはパンフレットをご請求いただき、取扱代理店または損保ジャパン日本興亜営業店までお問い合わせください。

問い合わせ先

幹事代理店 株式会社安田システムサービス

〒163-1529 東京都新宿区西新宿1-6-1 新宿エルタワー29F
TEL:03(3340)6497 FAX:03(3340)5700
受付時間 9:00～17:30(土・日・祝休)

引受保険会社

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

団体・公務開発部第二課
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
TEL:03-3349-5402 FAX:03-6388-0161
受付時間 9:00～17:00(土・日・祝休)

日本獣医師会福祉共済事業各保険の資料は下記幹事代理店までご請求ください。
なお、携帯電話からもご請求いただけます。
下のQRコードからアクセスしてください。



SJNK17-15251(2017.12.6)

新入会員報告

新 入 会 員



もり た あきひこ
森田 明彦
南支部



かやもり こうじ
栢森 康司
西支部



ひろた けんじ
廣田 賢司
西支部



おちあい こうすけ
落合 幸介
北支部



いとう こうた
伊藤 宏太
東支部



むらかみ あきよし
村上 彬祥
東支部

開業部会

支 部 名	氏 名	診療所所在地・名称
南	森 田 明 彦	川口市・木曽呂の森どうぶつ病院
西	(転入) 栢 森 康 司	入間市・高倉動物病院
西	(転入) 廣 田 賢 司	入間市・アリスどうぶつクリニック
北	落 合 幸 介	熊谷市・熊谷夜間救急動物病院
東	(転入) 伊 藤 宏 太	加須市・こうたアニマルクリニック
東	(転入) 村 上 彬 祥	越谷市・大相模動物クリニック

日本獣医師会主催 2019動物感謝デー in JAPAN 開催される



開会式で挨拶する藏内勇夫日本獣医師会会長

令和元年10月5日（土）、日本獣医師会主催による2019動物感謝デーin JAPANが東京都立駒沢オリンピック公園中央広場で開催されました。

この動物感謝デーは、「獣医師、獣医療のはたすべき社会的役割とともに、動物の社会参加の促進のための動物の福祉と愛護精神の高揚を図り、また、広く一般市民に普及・啓発することにより、獣医事並びに動物の福祉及び適正飼養に関する施策推進を通じ、人と動物が共存する豊かで健全な社会の形成に寄与すること」を開催目的とし、昨年は、日本獣医師会創立70周年記念事業との兼ね合いで、12月に二子玉川ライズで開催されましたが、今年は従来の時期と会場に戻しての開催となりました。

当日は晴天に恵まれましたが、強い風と真夏のような強い日差しの1日となりました。しかし、各イベントは多数の家族連れなどで賑わい、ペットを連れた来場者も多くみうけられました。

午前10時からの開会式では、主催者を代表して藏内勇夫日本獣医師会会長が挨拶し、来賓の国会議員の祝辞や紹介がありました。続いて、本会会員で諏訪流放鷹術保存会鷹匠の大橋邦啓先生（北支部）による放鷹術が披露され、鷹のハリスホーク号が開会宣言文をステージ上の藏内会長に運びました。



藏内会長に開会宣言を運んだハリスホーク号

開会式の後、メインステージでは「感染症対策と狂犬病予防の大切さを知ろう」、「知っていますか？ 獣医師の仕事」「動物病院をもっと知ろう！動物看護師の仕事」など、獣医師の仕事がわかりやすく紹介されました。

また、中央広場では、馬とのふれあいコーナーや獣医師を体験できるコーナーが設置されるとともに、「警察犬・災害救助犬のデモンストレーション」、大橋邦啓先生が率いる放鷹義塾による「鷹匠による伝統技術

のデモンストレーション」など多彩なイベントが行われ、1万5千人の来場者で一日中会場は賑わっていました。

また、日本獣医学生協会の200名以上の学生が運営に協力し、会場を盛り上げていました。

賑わう埼玉県獣医師会のブース

地方獣医師会のコーナーでは、全国各地の特産物の試食や販売が行われました。

埼玉県獣医師会のブースでは、安全・安心な牛肉生産に取り組む農場管理獣医師協会の活動紹介と併せて、埼玉県が全国に誇る特産の「狭山茶」も生産者の協力を得て試飲・販売を行いました。

例年好評の埼玉県産ブランド牛「彩さい牛」の串焼きは、ご協力いただいている熊谷市のホテルヘリテージがラグビーワールドカップ参加チームの宿泊先となったため、残念ながら今回は出展することができませんでした。



オリンピック記念塔と埼玉県のブース



鷹匠のデモンストレーション

左から 大橋邦啓先生(北支部)、川手龍太郎先生(団体支部)



右から 中村滋副会長、藏内勇夫日本獣医師会会長、高橋三男会長、鳥海弘動物感謝デー企画検討委員長(神奈川県獣医師会会長)、狭山茶生産者 平塚省吾様(入間市)、林繁雄理事

南支部学術講習会開催報告

南支部長 宗像 俊太郎
学術委員 松尾 英治

10月2日（水）TKP大宮ビジネスセンターにて共立製薬株式会社様協賛のもと、「猫慢性腎臓病治療薬最新アップデートセミナー」というテーマで東レ株式会社獣医師松浦巧先生にご講演いただきました。

猫の慢性腎臓病の病態から治療指針についての解説、またプロストナトリウムを有効成分とする経口プロスタサイクリン製剤を中心に、様々な研究報告や発売後の評価などお話がありました。

遅い時間にもかかわらず、多くの質問や講師の先生の豊富な知識もあり活発な質疑応答も行いました。

<参加者内訳>

出席者	さいたま市支部	南支部	西支部	北支部	東支部	団体支部	会員外
28名	3名	17名	0名	0名	1名	1名	6名

北支部学術講習会開催報告

北支部長 大橋 邦啓
学術委員 高野 宜彦

北支部では、10月6日（日）に札幌夜間動物病院の遠藤雄介先生をお招きし、「周術期の麻酔モニタリング」と題した学術講習会を開催いたしました。

今回の講習会では、日々の手術でも遭遇する麻酔管理の落とし穴やモニターに表示されるパラメータの読み方についてご講演頂きました。また、麻酔に関わる問題点など、実際の症例をもとに詳細に解説して頂きました。

質疑応答も活発で、大変有意義な講習会でした。

<参加者内訳>

出席者	さいたま市支部	南支部	西支部	北支部	東支部	農林支部	団体支部	会員外
39名	1名	1名	1名	15名	1名	1名	1名	18名

第147回 埼玉県獣医師会ゴルフ同好会コンペ結果報告

幹事 高野辺 智和（賛助会員）

増田 淳（衛生支部）

9月26日（木）、川越カントリークラブにおいて、第147回埼玉県獣医師会ゴルフ同好会コンペが開催されました。

秋晴れの中、ナイスショットの音が響き渡り、ハイレベルかつ楽しみながらのラウンドとなりました。
成績は、以下のとおりとなります。

	氏名(所属)	ネットスコア
優 勝	岡田 憲次 先生(西支部)	63
準優勝	山田 和男 先生(北支部)	70
第3位	吉田 初雄 先生(北支部)	73

※：同ネットの場合は年齢順

ベストグロス 岡田 憲次先生（西支部）77

次回は、12月19日（木）鳩山カントリークラブで開催予定です。

ゴルフに興味のある方、初心者の方も是非ご参加ください。



左から 準優勝の山田和男先生、長谷川繁雄ゴルフ同好会会長、
優勝の岡田憲次先生、第3位の吉田初雄先生

第10回 日本医師会・日本獣医師会による連携シンポジウム

“One Health” 時代を迎えた 薬剤耐性対策

“One Health”の実践に基づき人と動物の健康を確保するためには、医療及び獣医療にとどまらず関係する産業分野の関係者が密接に連携しながら関連施策に取り組む必要があります。特に薬剤耐性(AMR)対策については、医療、産業動物診療、小動物診療、農業生産、水産養殖、食品安全等、広範な分野で相互に情報提供等を行いつつ、それぞれの分野で有効な施策を講じていくことが不可欠です。

本連携シンポジウムは、このような社会的要請を踏まえ、“One Health”時代を迎えた今後の薬剤耐性(AMR)対策を展望した上で、医療、獣医療等の現場における薬剤耐性(AMR)対策の実践事例について紹介及び検討を行い、医療、獣医療等の関係分野における薬剤耐性(AMR)対策の一層効果的な推進に資することを目的として開催します。

開催日時：令和元年11月25日（月）10：00～16：00

開催場所：日本医師会館 大講堂（文京区本駒込2-28-16 日本医師会館1階）

第一部：耐性菌の現状と今後の展望

〔特別講演〕

- 1 医師側からの提言 賀来満夫（東北医科薬科大学医学部感染症学）
- 2 獣医師側からの提言 田村 豊（酪農学園大学動物薬教育研究センター）

主 催：公益社団法人 日本医師会 / 公益社団法人 日本獣医師会

第二部：動物分野及び医療分野における薬剤耐性対策の事例紹介

- ・ 獣医師側の取り組み
- ・ 医師側の取り組み

参加費：無料

問合せ先：公益社団法人日本獣医師会事務局

Tel. 03-3475-1601 Fax. 03-3475-1604 E-mail. ask@nichiju.or.jp

※出席を希望される方は11月13日（水）までに埼玉県獣医師会事務局まで電子メールや電話、FAXなどで連絡してください。

元日獣発第181号

令和元年9月21日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人日本獣医師会

会長 藏 内 勇 夫

(公印及び契印の押印は省略)

和牛精液や受精卵の凍結処理・保存に用いる液体窒素の販売に係る 取扱いについて（依頼）

このことについて、令和元年9月3日付け元生畜第663号をもって、農林水産省生産局畜産部畜産振興課長から別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、農林水産省に設置された「和牛遺伝資源の流通に関する検討会」が7月2日に公表した「中間とりまとめ」を踏まえ、液体窒素の販売事業所において液体窒素の販売をする場合には、購入者に対する利用目的の問いかけ、身分の確認を行うなど、畜産関係以外の方々にも協力を依頼した旨の周知を依頼されたものです。

つきましては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

※別添省略

元日獣発第187号

令和元年10月3日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人日本獣医師会

会長 藏 内 勇 夫

(公印及び契印の押印は省略)

「特定家畜伝染病防疫指針に基づく発生予防及びまん延防止措置 の実施に当たっての留意事項について」の一部改正等について

このことについて、令和元年9月11日付け元消安第2268号及び2269号をもって、農林水産省消費・安全局長から別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」（平成27年9月9日農林水産省大臣公表）及び「口蹄疫に関する特定家畜伝染病防疫指針」（平成27年11月20日農林水産大臣公表）の一部改正に伴い、それぞれの「特定家畜伝染病防疫指針に基づく発生予防及びまん延防止措置の実施に当たっての留意事項について」が一部改正等された旨、周知を依頼するものです。

ついては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

※別添省略

地方獣医師会事務局 御中

平素より大変お世話になっております。

さて、農林水産省から、昨日、豚コレラに関する特定家畜伝染病防疫指針の改正され、豚コレラの予防的ワクチン接種に伴う都道府県の家畜防疫員の確保についての協力が依頼されましたので、貴会会員に周知のほどお願い申し上げます。

公益社団法人日本獣医師会

公益社団法人 日本獣医師会会長殿

元消安第2915号

令和元年10月15日

農林水産省消費・安全局動物衛生課長

豚コレラの予防的ワクチン接種に伴う都道府県の家畜防疫員の確保についての協力のお願い

日頃より家畜衛生の推進にご尽力いただいておりますことに感謝申し上げます。

昨年9月に発生しました豚コレラについては、飼養豚での発生が継続するとともに、野生いのししにも本病ウイルスが浸潤・感染区域が拡大していることを踏まえ、今般、特定家畜伝染病防疫指針を変更し、予防的ワクチン接種を認めることとしました。

予防的ワクチン接種に際しては、家畜伝染病予防法第6条に基づき都道府県知事の命令により家畜防疫員が接種する必要がありますので、十分な家畜防疫員の確保のため、各都道府県では民間獣医師を臨時職員として任用し家畜防疫員に任命する等の方策を検討しているところです。

つきましては、上記に関して各都道府県より要請があった場合は、差し支えない範囲で協力いただくよう貴会員及び傘下団体に呼び掛けていただきますようお願いいたします。

広告

Allermmune

《世界初》
犬アトピー性皮膚炎治療は次世代へ。



アレルミューン
HDM 0.1

アレルミューン
HDM 0.5

アレルミューン
HDM 1

アレルミューン
HDM 2

アレルミューン
HDM 5

アレルミューン
HDM 10

動物用医薬品 劇 要指示

アレルミューン® HDM

アレルミューンHDMの特長

- 世界初、犬アトピー性皮膚炎の主要アレルゲン Der f 2抗原を使用した次世代減感作療法薬**
遺伝子組換え技術を用いて作製、精製した単一抗原に中性単糖であるプルランを結合した、次世代減感作療法薬。
- 組換え型Der f 2-プルラン結合体により、有効性と安全性の向上を実現**
組換え型Der f 2にプルランを結合させることにより、IgE抗体産生抑制とIgG抗体産生増強を確認。
- 臨床試験において、高い有効性と安全性を確認**
臨床試験では臨床症状の改善が認められるとともに、アナフィラキシーショックなど重篤な副作用は観察されず、有効性及び安全性を確認。
- 簡便な投薬プログラムにより、高い利便性を実現**
週1回、計5回ないし6回投与というプロトコルで、従来の減感作療法における、頻回投与、長期治療という煩雑さを克服。



ZENOAQ

製造販売元

日本全薬工業株式会社
福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

事務連絡

令和元年10月11日

県内畜産関係機関の長 様

埼玉県農林部畜産安全課長

丸山 盛司（公印省略）

豚コレラ発生に伴う畜産関係車両の消毒の徹底について（依頼）

日頃、本県の家畜衛生行政の推進に御理解、御協力いただき御礼申し上げます。

さて、県は本庄市及び神川町の養豚場において豚コレラの疑似患畜が確認されたことに伴い、下記のとおり、畜産関係車両の消毒ポイントを設置しています。

つきましては、貴会におかれましても、本病のまん延防止のため会員あて消毒ポイントにおける車両消毒の徹底について、周知くださるようお願いいたします。

併せて、農場を出入りする際の消毒等の衛生対策についても引き続き徹底するよう周知をお願いいたします。

なお、消毒ポイントに関するお問い合わせは、現地対策本部移動規制班あてをお願いいたします。

記

1 対象車両

農場に出入りする畜産関係車両

2 設置期間

令和元年10月14日（月）から

3 消毒ポイント所在地及び稼働時間

別添のとおり

4 問い合わせ先

現地対策本部 移動規制班（川越家畜保健衛生所内）

担当者：関根貴司

TEL：049-225-4141

※本県における豚コレラ発生情報は以下のホームページからご覧ください

<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0908/katikuboueki-top/csf.html>

移動制限区域、搬出制限区域及び消毒ポイント



凡 例

■ 消毒ポイント設置場所(4か所)

消毒ポイント所在地及び稼働時間

名称	所在地	稼働時間	備考
①神川町B&G海洋センター	神川町大字肥土1205-1	24時間	
②本庄市児玉文化会館	本庄市金屋728-2	9:00~17:00	
③本庄市若泉運動公園	本庄市小島6-11-14	9:00~17:00	
④寄居林業事務所	寄居町寄居1587-1	9:00~17:00	

事務連絡

令和元年10月18日

県内畜産関係機関の長 様

埼玉県農林部畜産安全課長

丸山 盛司

消毒ポイント(寄居林業事務所)における注意事項について（通知）

日頃、本県の家畜衛生行政の推進に御理解、御協力いただきお礼申し上げます。

さて、令和元年10月11日付事務連絡で依頼しました、豚コレラ発生に伴う畜産関係車両の消毒の徹底について、寄居林業事務所は4トントラック以上の車両が進入できません。

つきましては、4トントラック以上の車両の場合は、お手数をおかけしますが他の消毒ポイントを御利用いただきますようお願いいたします。

記

1 問い合わせ先

現地対策本部 移動規制班（川越家畜保健衛生所内）

担当者：関根貴司

TEL：049-225-4141

畜安第603-3号

令和元年10月18日

公益社団法人 埼玉県獣医師会

会 長 高橋三男 様

畜産安全課長

豚コレラに関する正しい知識の普及等について

日頃から、家畜衛生の推進に御協力いただき感謝申し上げます。

さて、標記の件について、別紙のとおり令和元年10月15日付け元消安第2910号・元食産第2753号・元生畜第921号により通知がありました。

今月15日、豚コレラに関する特定家畜伝染病防疫指針の一部改正に伴い、ワクチン接種推奨地域に指定されている本県では、現在、県内飼育豚への予防的ワクチン接種に向けた準備を進めております。

ついては、貴会会員に御周知いただくとともに、ワクチン接種に係る風評被害防止のための普及・啓発について、御理解・御協力をよろしくお願いします。

なお、関係機関等へは別添のとおり通知しました。

※別紙省略

豚コレラに関する Q&A

豚コレラは、豚やイノシシの病気であって、人に感染することはない、また、感染した豚の肉が市場に出回ることもありません。

仮に豚コレラに感染した豚の肉や内臓を食べても、人体に影響はありません。

Q 今回使用する豚コレラワクチンを接種した豚の肉を食べた場合、人の健康に影響はありますか。

A 今回使用する豚コレラワクチンを接種した豚の肉を食べても、人の健康に影響はありません。詳しくは以下をご覧ください。

Q1 豚コレラとは、どのような病気ですか。

A1 豚コレラ(Classical swine fever)は、豚コレラウイルスの感染による豚とイノシシの病気です。強い伝染力と高い致死率が特徴で、家畜伝染病予防法において家畜伝染病に指定されています。このため、発生した農場では、飼養豚等を対象に防疫措置を行うこととしています。

Q2 豚コレラとアフリカ豚コレラは、同じ病気ですか。

A2 症状は似ていますが、原因となるウイルスが異なる違う病気です。豚コレラの原因ウイルスは、フラビウイルス科ペスチウイルス属に分類されますが、アフリカ豚コレラ（African swine fever）の原因ウイルスは、アスファウイルス科アスフィウイルス属に分類されています。なお、アフリカ豚コレラウイルスも、人には感染しません。

Q3 これまでに、豚コレラの発生はありましたか。

A3 明治20年（1887年）、我が国で初めて豚コレラの発生が確認されました。昭和44年（1969年）に生ワクチンが開発され、発生が激減し、平成4年（1992年）を最後に発生は確認されていませんでした。

Q4 豚コレラウイルスは、人に感染しますか。

A4 豚コレラは豚とイノシシの病気です。人には感染しません。

Q5 豚コレラにかかった豚の肉は、市場に流通しますか。

A5 豚は、と畜場法に基づき、全頭、都道府県等のと畜検査員（獣医師）が異常や疾病がないか検査し、合格したものだけが市場に流通することになっています。と畜場で豚コレラであると確認された肉や内臓等については、検査不合格となり、市場に流通することはありません。

Q6 平成30年（2018年）9月の発生以降、どのような対策を行ってきましたか。

A6 豚コレラの対策については、平成30年9月の発生以降、衛生管理の徹底、早期出荷促進対策、防護柵の設置支援、捕獲強化や経口ワクチンの散布などの野生イノシシ対策等を実施してきました。

Q7 今回、豚コレラワクチンを接種するのはどうしてですか。

A7 豚コレラの防疫措置は、早期発見と感染した豚の処分を原則としています。豚コレラワクチンは、適切に接種されれば発症を防御することができますが、無計画かつ無秩序なワクチン使用は、感染した豚の存在を分かりにくくします。このため、予防的なワクチンの接種を原則行いません。

今般、野生イノシシにおいて、豚コレラの感染が拡大しており、衛生管理の向上等を図っても豚への感染防止が難しい場合に、豚への感染リスクが高い地域において、豚を対象にワクチンを接種し、豚コレラの発生を予防することにしました。

Q8 今回使用する豚コレラワクチンとはどのようなものですか。

A8 今回使用する豚コレラワクチン（以下、「豚コレラワクチン」）は、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（昭和35年法律第145号。旧「薬事法」）に基づき、農林水産大臣が承認し、国が備蓄しているものです。有効性及び安全性は担保されています。

Q9 豚コレラワクチンは、日本で使用したことがありますか。

A9 昭和44年（1969年）から平成18年（2006年）まで、37年間にわたって、国内でほとんどの豚に使用していました。

Q10 この間、豚コレラワクチンを接種した豚の肉を食べて、人の健康に影響を及ぼした事例はありますか。

A10 上記の法律に基づき、承認された医薬品は販売後に実際に使用した際の安全性等の情報を収集していますが、豚コレラワクチンを接種した豚の肉を食べて、人の健康に影響があったという報告はありません。

Q11 豚コレラワクチンには、どのような成分が含まれていますか。

A11 豚に豚コレラを引き起こさせないよう病原性を弱くした豚コレラウイルスと添加剤が含まれています。

Q12 豚コレラワクチンに含まれる添加剤が人の健康に影響を及ぼすことはありませんか。

A12 豚コレラワクチンに含まれている添加剤は、①食品又は食品から通常摂取されている成分（塩化ナトリウム、精製水、乳糖）及び②食品衛生法に基づく食品添加物として使用されている成分（ポリビニルピロリドン、リン酸水素二ナトリウム、リン酸二水素ナトリウム）ですので、ワクチンに含まれている添加物の量であれば、人の健康に影響はありません。

Q13 豚コレラワクチンの成分は豚肉に残留しているのですか。

A13 豚コレラワクチンを接種した健康な豚は、体内で豚コレラに対する免疫を獲得します。人の予防接種のように免疫を獲得すると、ワクチンに含まれている豚コレラウイルスは体内から消失します。このため、ワクチンに含まれている豚コレラウイルスが豚肉に残留することはないと考えられます。なお、ワクチンの成分（Q11及び12参照）が万一残留したとしても、人の健康に影響はありません。

埼玉県で発生した豚コレラについて

令和元年10月11日

豚コレラの疑似患畜の確認について（県内3例目）

本日（10月11日）、本庄市内の養豚農場において豚コレラの疑似患畜が確認されました。

1 確認された事柄

(1) 農場の所在地

異常を確認した農場:本庄市

関連農場:神川町

(2) 飼養頭数

異常を確認した農場:肥育豚 224頭

関連農場:繁殖豚 160頭、肥育豚 500頭、子豚 1,200頭

計2,084頭

2 経過

(1) 昨日（10月10日）、家畜防疫員（県の職員）が本庄市の養豚場から豚の異常の通報を受け、養豚農場の立入検査を実施したところ、豚に異常が見受けられました。

(2) 同日（10日）、当該農場の豚について検査を実施した結果、11日に豚コレラ陽性となりました。

(3) 本日（11日）、県から農林水産省に報告し、豚コレラの疑似患畜と判定されました。

3 県の対応

本日、12時30分から知事を本部長とする第3回緊急対策本部会議を開催し、家畜伝染病予防法及び豚コレラに関する特定家畜伝染病防疫指針に基づく防疫方針を決定し、防疫措置を実行する予定です。

4 その他

(1) 豚肉を食べることにより、豚コレラウイルスが人に感染することはありません。

(2) 豚コレラは、現場で取材される際などに靴底や車両などからウイルスが拡散するおそれがあります。このため、農場はもとより、周辺農場への取材については、厳に慎んでいただくよう御協力をお願いします。

「第3回埼玉県豚コレラ緊急対策本部」会議の開催について

○ 日時 令和元年10月11日（金）12時30分～

○ 場所 庁議室

埼玉県における野生イノシシ豚コレラ検査実施状況

令和元年10月17日現在

<死亡野生イノシシ>

例数	検査日	回収場所	個体情報		発見日	検査結果 (遺伝子検査)
			性別	成子の別		
1	令和元年9月20日	秩父市	メス	成獣	令和元年9月20日	陽性
2	令和元年9月24日	飯能市	メス	不明	令和元年9月13日	陰性
3	令和元年9月26日	秩父郡横瀬町	メス	成獣	令和元年9月26日	陰性
4	令和元年10月7日	秩父市	メス	幼獣	令和元年10月6日	陽性
5	令和元年10月9日	秩父郡長瀬町	メス	成獣	令和元年10月8日	陽性
6	令和元年10月10日	本庄市	オス	幼獣	令和元年10月9日	陽性
7	令和元年10月16日	越生町	メス	幼獣	令和元年10月15日	陰性

<捕獲野生イノシシ>

例数	検査日	捕獲場所	個体情報		捕獲日	検査結果 (遺伝子検査)
			性別	成子の別		
1	令和元年10月3日	秩父市	オス	成獣	令和元年9月24日	陰性
2	令和元年10月3日	秩父市	不明	成獣	令和元年9月25日	陰性
3	令和元年10月3日	秩父市	メス	幼獣	令和元年9月26日	陰性
4	令和元年10月3日	秩父市	オス	成獣	令和元年9月27日	陽性
5	令和元年10月3日	秩父市	オス	成獣	令和元年9月28日	陰性
6	令和元年10月3日	秩父市	メス	成獣	令和元年9月28日	陽性
7	令和元年10月3日	秩父市	オス	成獣	令和元年9月29日	陽性
8	令和元年10月3日	秩父市	オス	成獣	令和元年9月29日	陰性
9	令和元年10月10日	秩父市	メス	成獣	令和元年9月28日	陰性
10	令和元年10月10日	秩父市	オス	成獣	令和元年9月28日	陰性
11	令和元年10月10日	秩父市	メス	成獣	令和元年10月1日	陰性
12	令和元年10月10日	秩父市	メス	幼獣	令和元年10月1日	陰性
13	令和元年10月10日	秩父市	オス	成獣	令和元年10月3日	陰性
14	令和元年10月10日	秩父市	オス	成獣	令和元年10月3日	陰性
15	令和元年10月10日	秩父市	メス	成獣	令和元年10月4日	陽性
16	令和元年10月10日	秩父市	メス	成獣	令和元年10月4日	陰性
17	令和元年10月10日	秩父市	オス	成獣	令和元年10月5日	陰性
18	令和元年10月10日	秩父市	オス	成獣	令和元年10月5日	陰性
19	令和元年10月10日	秩父市	メス	成獣	令和元年10月5日	陰性
20	令和元年10月10日	秩父市	オス	幼獣	令和元年10月7日	陰性
21	令和元年10月10日	秩父市	メス	幼獣	令和元年10月7日	陰性
22	令和元年10月10日	秩父郡横瀬町	メス	成獣	令和元年9月22日	陰性
23	令和元年10月10日	秩父郡横瀬町	メス	成獣	令和元年9月23日	陰性
24	令和元年10月10日	秩父郡横瀬町	メス	幼獣	令和元年9月24日	陰性
25	令和元年10月10日	秩父郡横瀬町	メス	成獣	令和元年9月26日	陰性
26	令和元年10月10日	秩父郡横瀬町	オス	成獣	令和元年9月27日	陰性
27	令和元年10月10日	秩父郡横瀬町	オス	幼獣	令和元年9月29日	陰性
28	令和元年10月10日	秩父郡横瀬町	オス	成獣	令和元年9月29日	陰性
29	令和元年10月10日	秩父郡横瀬町	オス	成獣	令和元年10月1日	陰性
30	令和元年10月10日	秩父郡横瀬町	オス	幼獣	令和元年10月1日	陰性
31	令和元年10月10日	秩父郡横瀬町	オス	成獣	令和元年10月2日	陰性
32	令和元年10月10日	秩父郡横瀬町	メス	成獣	令和元年10月3日	陰性
33	令和元年10月10日	秩父郡横瀬町	メス	成獣	令和元年10月4日	陰性
34	令和元年10月10日	秩父郡横瀬町	オス	成獣	令和元年10月7日	陰性
35	令和元年10月10日	秩父郡長瀬町	メス	幼獣	令和元年10月5日	陽性
36	令和元年10月10日	秩父郡小鹿野町	メス	成獣	令和元年9月19日	陰性
37	令和元年10月10日	秩父郡小鹿野町	オス	成獣	令和元年9月22日	陰性
38	令和元年10月10日	秩父郡小鹿野町	メス	成獣	令和元年9月22日	陰性
39	令和元年10月10日	秩父郡小鹿野町	オス	成獣	令和元年9月26日	陰性
40	令和元年10月10日	秩父郡小鹿野町	オス	成獣	令和元年9月27日	陰性
41	令和元年10月10日	秩父郡小鹿野町	メス	成獣	令和元年10月1日	陰性
42	令和元年10月17日	秩父市山田	オス	成獣	令和元年10月8日	陰性
43	令和元年10月17日	秩父市山田	オス	成獣	令和元年10月8日	陰性
44	令和元年10月17日	秩父市久那	オス	幼獣	令和元年10月9日	陰性
45	令和元年10月17日	秩父市久那	メス	成獣	令和元年10月10日	陰性
46	令和元年10月17日	秩父市久那	オス	成獣	令和元年10月10日	陰性
47	令和元年10月17日	秩父市黒谷	オス	幼獣	令和元年10月11日	陰性

令和元年9月1日以降

総陽性頭数 9頭(死亡4頭、捕獲5頭)

総検査頭数 54頭(死亡7頭、捕獲47頭)

豚コレラの発生状況

豚コレラの防疫措置対応(概要)

令和元年10月15日 9時00分現在

事例数: 46事例 (防疫措置対象: 81農場、4 と畜場、146,314 頭)				農林水産省 対策本部	防疫対応状況 (予定は最短の場合)					
発生場所		発生日	飼養頭数※(種別) ※飼養頭数は患者確定時の頭数		措置完了日 (※日付)		17日目		28日目	
					防疫措置 (殺処分・消毒等)		搬出制限区域 解除	移動制限区域 解除		
					開始	完了				
①	豚一貫農場 (岐阜県岐阜市)	2018年 9月9日	546頭	9月9日	9月9日 6時00分	9月11日 14時00分	9月29日0時解除	10月10日0時解除		
②	畜産センター公園 (岐阜県岐阜市)	2018年 11月16日	21頭	-	11月16日 1時00分	11月16日 15時00分	12月4日0時解除	12月15日0時解除		
③	畜産研究所 (岐阜県美濃加茂市)	2018年 12月5日	503頭	12月5日	12月5日 5時30分	12月7日 15時32分	12月25日0時解除	1月5日0時解除		
④	いのしし飼養施設 (岐阜県関市)	2018年 12月10日	21頭(いのしし)	-	12月10日 11時30分	12月11日 15時56分	12月29日0時解除	1月9日0時解除		
⑤	農業大学校 (岐阜県可児市)	2018年 12月15日	10頭	-	12月15日 20時30分	12月16日 15時35分	1月3日0時解除	1月14日0時解除		
⑥	豚一貫農場 (岐阜県関市)	2018年 12月25日	8,083頭	-	12月25日 7時30分	12月28日 8時10分	1月16日0時解除	1月26日0時解除		
⑦	豚一貫農場 (岐阜県各務原市)	2019年 1月29日	1,609頭	-	1月29日 9時00分	1月31日 7時00分	2月18日0時解除	3月1日0時解除		
	と畜場(㉞) (岐阜県岐阜市)	(関連と畜場)	150頭(係留頭数)		1月29日 17時45分	1月31日 7時00分	-	-		
	豚肥育農場(㉟) (岐阜県本巣市)	(関連農場)	778頭		1月30日 13時20分	2月1日 6時50分	-	-		
⑧	豚一貫農場 (愛知県豊田市)	2019年 2月6日	5,620頭	2月6日	2月6日 午前	2月12日 8時00分	3月2日0時解除	3月13日0時解除		
	豚肥育農場(㊱) (愛知県田原市)	(関連農場)	1,611頭		2月6日 13時00分	2月10日 21時00分	-	-		
	豚肥育農場(㊲) (長野県宮田村)	(関連農場)	2,444頭		2月6日 13時00分	2月8日 17時30分	-	-		
	と畜場(㊳) (長野県松本市)	(関連と畜場)	38頭(係留頭数)		2月6日 11時00分	2月8日 17時30分	-	-		
	豚一貫農場(㊴) (岐阜県恵那市)	(関連農場)	4,333頭		2月6日 9時00分	2月8日 17時10分	-	-		
	豚肥育農場(㊵) (大阪府東大阪市)	(関連農場)	737頭		2月6日 9時30分	2月15日 17時30分	-	-		
	豚肥育農場(㊶) (滋賀県近江八幡市)	(関連農場)	699頭		2月6日 10時30分	2月8日 17時45分	-	-		

豚コレラの防疫措置対応(概要)

令和元年10月15日 9時00分現在

事例数: 46事例 (防疫措置対象: 81農場、4 と畜場、146,314 頭)				農林水産省 対策本部	防疫対応状況(予定は最短の場合)				
発生場所		発生日	飼養頭数※(種別) ※飼養頭数は患者確定時の頭数		措置完了日(※日付)		17日目	28日目	
					防疫措置(殺処分、消毒等)		搬出制限区域 解除	移動制限区域 解除	
					開始	完了			
⑨	豚一貫農場(1戸2農場) (愛知県田原市)	2019年 2月13日	1,740頭	-	2月13日 8時00分	2月24日 20時00分	3月17日0時解除	3月25日0時解除	
	養豚団地関連(7戸14農場)(㊴) (愛知県田原市)	(関連農場)	15,585頭						
⑩	豚肥育農場 (岐阜県瑞浪市)	2019年 2月19日	5,765頭	-	2月19日 11時00分	2月23日 7時00分	3月13日0時解除	3月24日0時解除	
⑪	豚一貫農場 (岐阜県山県市)	2019年 3月7日	1,503頭	-	3月7日 9時30分	3月9日 7時30分	3月28日0時解除	4月7日0時解除	
⑫	豚繁殖農場 (岐阜県山県市)	2019年 3月23日	3,637頭	-	3月23日 9時00分	3月26日 7時00分	4月14日0時解除	4月24日0時解除	
⑬	豚一貫農場 (愛知県瀬戸市)	2019年 3月27日	4,131頭	-	3月27日 12時40分	4月3日 19時30分	5月12日0時解除	5月23日0時解除	
⑭	豚一貫農場 (愛知県田原市)	2019年 3月28日	1,730頭	-	3月28日 12時00分	4月5日 17時00分	5月24日0時解除	5月24日0時解除	
	養豚団地関連(3戸3農場)(㊵) (愛知県田原市)	(関連農場)	6,421頭						
⑮	豚一貫農場 (愛知県瀬戸市)	2019年 3月29日	1,468頭	3月29日	3月29日 11時:50分	4月3日 19時30分	5月12日0時解除	5月23日0時解除	
⑯	豚一貫農場 (愛知県田原市)	2019年 3月29日	1,014頭		3月29日 23時45分	4月2日 16時00分	6月17日0時解除	6月21日0時解除	
⑰	豚一貫農場 (岐阜県美濃加茂市)	2019年 3月30日	666頭	-	3月30日 15時30分	3月31日 15時30分	4月18日0時解除	4月29日0時解除	
⑱	豚一貫農場 (岐阜県恵那市)	2019年 4月9日	3,521頭	-	4月9日 11時18分	4月11日 17時00分	4月29日0時解除	5月10日0時解除	
⑲	豚一貫農場 (愛知県瀬戸市)	2019年 4月10日	4,641頭	-	4月10日 15時00分	4月15日 18時00分	5月12日0時解除	5月23日0時解除	
⑳	豚一貫農場 (岐阜県恵那市)	2019年 4月17日	9,830頭	-	4月17日 11時30分	4月22日 8時00分	5月10日0時解除	5月21日0時解除	
	と畜場(ア) (岐阜県岐阜市)	(関連と畜場)	67頭		4月17日 17時00分	4月18日 8時00分	-	-	

豚コレラの防疫措置対応(概要)

令和元年10月15日 9時00分現在

事例数: 46事例 (防疫措置対象: 81農場、4 と畜場、146,314 頭)				農林水産省 対策本部	防疫対応状況 (予定は最短の場合)			
発生場所		発生日	飼養頭数※(種別) ※飼養頭数は患畜確定時の頭数		措置完了日 (※休日)		17日目	28日目
					防疫措置 (殺処分、消毒等)		搬出制限区域 解除	移動制限区域 解除
					開始	完了		
㉑	豚一貫農場 (愛知県田原市)	2019年 4月21日	1,024頭	—	4月21日 11時40分	4月25日 19時00分	5月24日0時解除	5月24日0時解除
	豚肥育農場(㊟) (愛知県田原市)	(関連農場)	391頭	—	4月21日 10時45分	4月25日 19時00分	—	—
	豚肥育農場(㊿) (愛知県田原市)	(関連農場)	311頭					
㉒	豚一貫農場 (愛知県瀬戸市)	2019年 4月22日	966頭	—	4月22日 12時00分	4月24日 19時00分	5月12日0時解除	5月23日0時解除
㉓	豚一貫農場 (愛知県田原市)	2019年 5月17日	3,433頭	—	5月17日 16時00分	5月23日 20時00分	7月7日0時解除	7月15日0時解除
	養豚団地関連(1戸1農場)(㊿) (愛知県田原市)	(関連農場)	1,304頭		5月17日 16時00分	5月23日 20時00分	—	—
㉔	豚一貫農場 (岐阜県山県市)	2019年 5月25日	2,040頭	—	5月25日 15時00分	5月28日 8時00分	6月15日0時解除	6月26日0時解除
㉕	豚肥育農場 (岐阜県山県市)	2019年 6月5日	7,429頭	6月6日	6月5日 18時10分	6月10日 8時20分	6月28日0時解除	7月9日0時解除
㉖	豚一貫農場 (愛知県田原市)	2019年 6月12日	1,271頭	—	6月12日 14時45分	6月16日 10時00分	7月7日0時解除	7月15日0時解除
㉗	豚一貫農場 (岐阜県関市)	2019年 6月23日	1,193頭	—	6月23日 18時00分	6月25日 12時50分	7月13日0時解除	7月24日0時解除
㉘	豚一貫農場 (愛知県西尾市)	2019年 6月29日	1,141頭	—	6月29日 19時15分	7月9日 23時50分	7月28日0時解除	8月7日0時解除
	養豚団地関連(4戸6農場)(㊿) (愛知県西尾市)	(関連農場)	6,687頭	—	6月29日 19時15分	7月9日 23時50分	—	—

豚コレラの防疫措置対応(概要)

令和元年10月15日 9時00分現在

事例数: 46事例 (防疫措置対象: 81農場、4 と畜場、146,314 頭)				農林水産省 対策本部	防疫対応状況(予定は最短の場合)				
発生場所		発生日	飼養頭数※(種別) ※飼養頭数は患畜確定時の頭数		措置完了日(※休日)		17日目	28日目	
					防疫措置(殺処分、消毒等)		搬出制限区域 解除	移動制限区域 解除	
					開始	完了			
㉙	豚一貫農場 (岐阜県恵那市)	2019年 7月3日	4,810頭	—	7月3日 23時00分	7月7日 15時15分	7月25日0時解除	8月5日0時解除	
㉚	豚肥育農場 (愛知県長久手市)	2019年 7月8日	583頭	—	7月8日 9時00分	7月12日 17時00分	7月31日0時解除	9月11日0時解除	
	豚肥育農場(㊿) (愛知県瀬戸市)	関連農場	217頭				—	—	
㉛	豚一貫農場 (岐阜県七宗町)	2019年 7月10日	405頭	—	7月10日 7時00分	7月11日 14時30分	7月29日0時解除	8月9日0時解除	
㉜	豚一貫農場 (三重県いなべ市)	2019年 7月24日	4,189頭	—	7月24日 21時00分	7月30日 22時00分	8月17日0時解除	8月28日0時解除	
㉝	豚一貫農場 (岐阜県恵那市)	2019年 7月27日	1,007頭	—	7月28日 2時00分	7月30日 10時30分	8月17日0時解除	8月28日0時解除	
㉞	豚一貫農場 (福井県越前市)	2019年 7月29日	297頭	7月31日	7月29日 20時00分	8月1日 9時30分	9月3日0時解除	9月14日0時解除	
㉟	豚一貫農場 (愛知県豊田市)	2019年 8月9日	312頭	—	8月9日 21時20分	8月11日 13時40分	9月21日0時解除	10月1日0時解除	
㊱	県農業総合試験場 (愛知県長久手市)	2019年 8月9日	707頭	—	8月9日 22時20分	8月13日 21時30分	8月31日0時解除	9月11日0時解除	
㊲	豚一貫農場 (福井県越前市)	2019年 8月12日	688頭	—	8月12日 20時08分	8月16日 16時34分	9月3日0時解除	9月14日0時解除	
㊳	豚一貫農場 (岐阜県揖斐川町)	2019年 8月17日	3,606頭 *	—	8月17日 16時30分	8月23日 9時00分	9月11日0時解除	9月21日0時解除	
㊴	豚肥育農場 (愛知県豊田市)	2019年 8月31日	252頭 *	—	8月31日 21時00分	9月2日 10時00分	9月20日0時解除	10月1日0時解除	
㊵	豚繁殖農場 (岐阜県中津川市)	2019年 9月5日	316頭 *	9月5日	9月5日 16時45分	9月6日 10時30分	9月24日0時解除	10月5日0時解除	
㊶	豚一貫農場 (埼玉県秩父市)	2019年 9月13日	924頭 * 精査中	—	9月13日 21時00分	9月17日 18時00分	10月5日0時解除	10月16日0時解除予定	
	と畜場(タ) (山梨県笛吹市)	関連と畜場	(搬入頭数 37頭)	—	—	—	—	—	

豚コレラの防疫措置対応(概要)

令和元年10月15日 9時00分現在

事例数: 46事例 (防疫措置対象: 81農場、4 と畜場、146,314 頭)				農林水産省 対策本部	防疫対応状況(予定は最短の場合)			
発生場所	発生日	飼養頭数※(種別)	措置完了日(※日付)		17日目 撤出制限区域 解除	28日目 移動制限区域 解除		
			防疫措置(殺処分、消毒等)					
			開始				完了	
④②	畜産試験場 (長野県塩尻市)	2019年 9月14日	349頭 *	9月14日	9月14日 7時18分	9月16日 13時38分	10月4日0時解除	10月15日0時解除
④③	豚一貫農場 (埼玉県小鹿野町)	2019年 9月17日	1,307頭 *	9月17日	9月17日 17時10分	9月20日 17時00分	10月8日0時解除	10月19日0時解除予定
④④	豚一貫農場(1戸2農場) (長野県高森町)	2019年 9月19日	112 頭 *	9月19日	9月19日 9時15分	9月20日 19時15分	10月8日0時解除	10月19日0時解除予定
④⑤	豚一貫農場 (岐阜県恵那市)	2019年 9月22日	8,037頭 *	9月24日	9月22日 14時20分	9月28日 9時00分	10月16日0時解除予定	10月27日0時解除予定
④⑥	豚肥育農場(1戸2農場) (埼玉県本庄市)	2019年 10月11日	2,084頭 * 精査中	-	10月14日 11時00分			

豚コレラの防疫措置対応(概要)

令和元年10月15日 9時00分現在



令和元年度埼玉県獣医師会学術広報版

(令和元年10月20日現在)

年 月 日	産 業 動 物	小 動 物	公 衆 衛 生
4 月			
5 月			
6 月14日(金) ～16日(日)	第98回日本獣医麻酔外科学会/第110回日本獣医循環器学会/第65回日本獣医画像診断学会 2019春季合同学会 (さいたま市 大宮ソニックシティ)		
7 月15日 (月・祝)		東支部 「ふだんは治療がうまくいくけど、たまに 痛い目に遭うことがある犬の肥満細胞腫 アップデート」 日本小動物医療センター 小林哲也 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
8 月			
9 月 1 日(日)		北支部 「僧房弁閉鎖不全症～エビデンスでみる内 科から外科への移行のタイミング～」 近畿動物医療研修センター附属動物病院 森拓也 先生 (熊谷市 ホテルシティーフィールドかごはら)	
9 月 1 日(日)		東支部 「麻酔学；周術期のモニタリング」 日本獣医生命科学大学 神野 信夫 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
10月 6 日(日)		北支部 「周術期の麻酔管理(仮)」 札幌夜間動物病院 遠藤雄介 先生 (深谷市 深谷男女共同参画推進センター)	
10月18日(金)	北支部 「AMRを考える 産業動物診療 を基礎から見直そう！正しい薬 の使い方について」 麻布大学 佐藤 礼一郎 先生 (熊谷市 熊谷家畜保健衛生所) →延期		
10月20日(日)		西支部 「腎泌尿器疾患で押さえておきたい7つのこと」 日本獣医生命科学大学 宮川 優一 先生 (川越市 川越南文化会館)	
10月27日(日)	2019年度 関東・東京合同地区獣医師大会(千葉)獣医学術関東・東京合同地区学会 (千葉市 幕張メッセ)		
11月 4 日 (月・祝)		南支部 「疑問を徹底解説～新ACVIM新ガイドライ ン2019～」 近畿動物医療研修センター附属動物病院 森拓也 先生 (さいたま市 大宮ソニックシティ)	
11月24日(日)		西支部 「眼科の緊急疾患～角膜疾患と緑内障」 日本小動物医療センター 小野 啓 先生 (川越市 川越南文化会館)	
12月 8 日(日)		東支部 「内分泌学；犬のクッシング症候群とアジソン病」 まつき動物病院 松木 直章 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	

年 月 日	産 業 動 物	小 動 物	公 衆 衛 生
12月15日(日)		北支部 「心筋症だけじゃない猫の心臓病」 宮崎大学 中村 健介 先生 (深谷市 深谷男女共同参画推進センター)	
令和2年 1月19日(日)		南支部 「演題 未定」 日本小動物医療センター 小林哲也 先生 (さいたま市 さいたま共済会館)	
1月26日(日)		さいたま市支部 「麻酔学(演題未定)」 どうぶつの総合病院 浅川 誠 先生 (さいたま市 ホテルブリランテ武蔵野)	
1月26日(日)		西支部 「演題 未定」 東京大学 大野 耕一 先生 (川越市 川越南文化会館)	
2月	農林支部 令和元年度埼玉県家畜保健 衛生業績発表会		衛生支部 健康福祉研究発表会 食肉衛生技術研修会
2月7日(金) ～9日(日)	2019年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会(東京) (東京国際フォーラム)		
2月16日(日)		西支部 「演題 未定」 日本獣医生命科学大学 水越 美奈 先生 (川越市 川越南文化会館)	
3月15日(日)		さいたま市支部 「麻酔学(演題未定)」 どうぶつの総合病院 浅川 誠 先生 (さいたま市 埼玉会館)	

事務局メモ

ホームページ会員専用ページ 入室は URL <http://www.saitama-vma.org/>

ID：SVMA（半角・大文字） パスワード：MITSUO（半角・大文字）

- | | | | |
|------------|--|---------|---|
| 10月11日 | 埼玉県養豚協会研修会（熊谷市 ホテルガーデンパレス）中止 | 12月10日 | 集合狂犬病予防注射実施者講習会（さいたま市 大宮ソニックシティ） |
| 10月13日 | 獣医公衆衛生講習会（関東地区）（神奈川県横浜市 神奈川県総合医療会館）中止 | 12月15日 | 北支部学術講習会（深谷市 深谷男女共同参画センター） |
| 10月14日 | ソフトボール大会（さいたま市 大宮けんぼグラウンドSフィールド）中止 | 1月19日 | 南支部学術講習会（さいたま市 さいたま共済会館） |
| 10月16日 | 第2回獣医事調査委員会（さいたま市 埼玉県農業共済会館） | 1月23日 | 埼玉県狂犬病予防協会研修会（桶川市 さいたま文学館） |
| 10月18日 | 北支部学術講習会（熊谷市 熊谷家畜保健衛生所）延期 | 1月26日 | 西支部学術講習会（川越市 川越南文化会館） |
| 10月20日 | 西支部学術講習会（川越市 川越南文化会館） | 1月26日 | さいたま市支部学術講習会（さいたま市 ホテルブリランテ武蔵野） |
| 10月21日 | 第63回公衆衛生大会（さいたま市 埼玉会館） | 2月7日～9日 | 2019年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会（東京都千代田区 東京国際フォーラム） |
| 10月23日 | 第4回理事会（さいたま市 埼玉県農業共済会館） | 2月16日 | 西支部学術講習会（川越市 川越南文化会館） |
| 10月27日 | 2019年度関東・東京合同地区獣医師大会（千葉）、獣医学術関東・東京合同地区学会（千葉県千葉市 幕張メッセ） | 2月16日 | 第3回関東・東京合同地区理事会（千葉県千葉市 東天紅） |
| 11月4日 | 南支部学術講習会（さいたま市 大宮ソニックシティ） | 3月15日 | さいたま市支部学術講習会（さいたま市 埼玉会館） |
| 11月14日 | 動物愛護フェスティバル2019（熊谷市 埼玉県動物指導センター） | 9月6日 | 関東・東京合同地区獣医師大会（栃木）（栃木県栃木市 栃木総合文化センター） |
| 11月16日・17日 | ドリームフェスタ（草加市 まつばら綾瀬川公園） | | |
| 11月24日 | 西支部学術講習会（川越市 川越南文化会館） | | |
| 11月25日 | 日本医師会・日本獣医師会連携シンポジウム（東京都文京区 日本医師会館） | | |
| 12月8日 | 東支部学術講習会（越谷市 越谷サンシティ） | | |

編集後記

暦の上では、晩秋の始まりである寒露が10月8日、24日が霜降、冬となる立冬が11月8日だそうです。暦はもともと大陸の中原で作られたもので、ユーラシア大陸から離れた日本列島においては季節が僅かに異なるように感じられます。今年も寒露の頃、金木犀がほのかに香り、晩秋の冷気を感じました。新月が9月29日で11日が十三夜になり月を愛でることができるところを心待ちにしていたところ、史上稀な巨大台風19号の襲来で月見どころか、門戸を固く閉ざし、敷地内の様々なものに暴風雨対策を施すこととなりました。自然の猛威の前には、人々は首をすくめて脅威の去るのを待つばかりでした。古来、天然の災禍に度々見舞われていた我が民族は、天を恐れ祈りつつ耐えてきました。自然を制御することなど夢想することはありませんでした。土木工学や建築工学は自然災害を抑え込んで人々が安全に過ごせる都市および住環境を創出できることを目的としているように見えます。治水目的のダムは作られたその瞬間から土砂の堆積が始まり寿命までのカウントダウンが始まります。人智で計った降雨量を超えれば、緊急放流してダムを守るために下流域の安全は放棄されることも明らかとなりました。自然を科学で制御することは不可能であることを理解し自然災害を含む自然との共存の道筋を見出すことに方針を転換することも一考ではないでしょうか。

政治スローガンでは、安全安心な社会の構築と言いますが、真に安全な社会などあり得ないという現実こそ知るべきでしょう。社会に常に存在する危険やリスクを周知、理解したうえで、それぞれが身を処することが肝要かと思われま

す。

本会報既報の通り、本県において豚コレラが発生しました。これは天然の災害ではありません。ワクチンという防御武器の使用を禁じて、徒手空拳で豚コレラに対抗することを命じた国家による災禍とも言えます。中部地方の10万頭を超える豚の犠牲の上に初めてワクチン接種の再開が決定されましたが、手続きに手間取り22

日現在11月初旬に接種が始まるようです。

感染症防御の実際では、ヒューマンエラーは常に考慮すべきリスクファクターです。今回の豚コレラも、水際の防疫に齟齬が生じ中国大陸で流行している豚コレラが岐阜県に侵入し感染が拡大しました。国の行う検疫体制が完璧であれば豚コレラは我が国に侵入することはなかったはずですが、防疫線が突破された後の防御策が無策であったがために10万頭を超える犠牲を払うこととなりました。このことの責任は、第一義的には農水省において防疫方針を決定した獣医師にあることは明らかなですが、我が国の獣医師の一人一人が防疫に関して少なからず責任を負うべきであるということも自覚すべき事柄と考えます。豚コレラを我国への侵入を看過した責任及び責任者、まん延防止策を誤った責任とその責任者これらを明確にし、今後の防疫計画を再構築することが肝要と思われます。岐阜県、愛知県、長野県では完璧な感染防御を整えているはずの県の畜産施設においても豚コレラの侵入を許しています。現場の防疫では常にヒューマンエラーは付き纏います。従ってそのヒューマンエラーをカバーする2重3重の防御策を講じることこそ本来求められる防疫体制と考えるべきでしょう。防疫方針を決定する獣医師、実践する獣医師それぞれが状況に応じて既定の方針を柔軟に運用する知識と権能を有し相互の情報交換と意思決定を容易にして状況に応じた防疫が実践され結果として国民の負託に応えられるようにしたいものです。今回のラグビー日本チームのように一人一人がチームのために今何を為すべきか考え実践できる組織作りが求められています。

天然の災害は自然との共存の道を求めて最小限の災禍にするように努力しなければなりません。豚コレラをはじめとする感染症は、天然の災害ではなく、科学の成果を以て制御できる対象であることを認識し、人々が相互に協力して駆逐したいものです。豚コレラの制圧を祈りつつ会報をお届けいたします。

(初雁)

NexGard SPECTRA® ネクスガード スペクトラ

動物用医薬品 要指示
犬用ノミ・マダニ駆除剤
犬糸状虫症予防・消化管内寄生虫駆除剤

Broadline® ブロードライン®

動物用医薬品 要指示
猫用ノミ駆除・寄生予防／マダニ駆除剤
猫の犬糸状虫症予防／消化管内線虫・条虫駆除剤

フィラリア症

ノミ

マダニ

お腹の虫

犬も猫もオールインワンのお薬で安心

Boehringer Ingelheim
ベリンガー・インゲルハイム
アニマルヘルスジャパン(株)

ZENOAG
日本全薬工業株式会社

登録商標





ミルクが出ない



太りすぎ



卵が少ない

そんな悩みを

わかっていてくれる。



治りが遅い



高齢化



食欲がない

アクティは大切な動物の健康をサポートします。

私共、アクティ動薬事業部は、動物病院ならびに

牛、豚、鶏などの産業動物を対象とした

動物用医薬品、特別療法食、医療機器等の販売をしています。

20世紀は抗生物質の時代、

21世紀は生菌製剤の時代といわれるように、

健康に関する考え方も大きく変化してきています。

私たちは、獣医療を支えている関係者、畜産農家、

ペットオーナーの皆様方と共に、健康で、豊かで、安心な

生活を営んでいけるように、力を注いでまいります。

本社・長野県営業部

〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村8228

TEL:0263-87-7247 FAX:0263-87-7247

北関東営業所

〒370-1135 群馬県佐波郡玉村町板井870

TEL:0270-65-0552 FAX:0270-65-0553

さいたま営業所

〒338-0004 埼玉県さいたま市中央区本町西5-3-24

TEL:048-611-6111 FAX:048-611-6116

千葉営業所

〒260-0851 千葉県千葉市中央区矢作町243

TEL:043-308-0221 FAX:043-308-0223

茨城営業所

〒311-4152 茨城県水戸市河和田1丁目1642-1

TEL:029-306-8271 FAX:029-251-3880

山梨営業所

〒409-3863 山梨県中巨摩郡昭和町河東中島1599-4

TEL:055-275-5573 FAX:055-275-5564